

## 巻 頭 言



福岡市長 高島 宗一郎

# 「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」を目指して

福岡市は、アジアのゲートウェイとして、古くから重要な役割を担ってきました。2000年を超える海外との交流の歴史の中で、多くの人が行き交い、様々な文化をしなやかに受け入れることで発展してきたまちです。

現在でも、G20 福岡財務大臣・中央銀行総裁会議やライオンズクラブ国際大会といった国際的な会議や大型イベントの開催により、多くの人々が福岡市を訪れるなど、海外との交流は、引き続き福岡市の成長の原動力となっています。今年は、世界のトップスイマーが集結する「世界水泳選手権 2023 福岡大会」と、「世界マスターズ水泳選手権 2023 九州大会」の開催にあたり、多くの選手、関係者、観客のみなさまをお迎えしております。

もちろん、都市の成長だけではなく、市民のみなさまに海外の文化を知っていただくことも、海外交流の大切な役割です。福岡市では、今年で33回目を迎える「福岡アジア文化賞」や、これまでに約1万人のアジア太平洋諸国・地域子どもたちを学校やホームステイで受け入れ、異文化交流を続けている「アジア太平洋子ども会議・イン福岡 (APCC)」など、長年にわたり、市民のみなさまがアジアの文化に触れる機会を作ってまいりました。

また、外国人から選ばれる都市という観点では、共に地域コミュニティを作り上げていく仲間として、多文化共生に向けた取組みをより一層、推進していくことが重要です。昨今の特定技能の分野拡大に関する議論は、日本で働き、家庭を持ちたいという外国人を後押ししていくものと考えており、こうした転換期をチャンスと捉え、外国人にも住みやすく活動しやすいまちづくりを、これまで以上に積極的に進めるとともに、将来を見据えた中長期的な取組みにも力を入れてまいります。

さて、日本全体で人口減少が進む中、福岡市の人口は163万人を超えさらに増加を続けています。市内在住の外国人も入国制限の緩和以降急激に増加し、2023年3月時点で40,386人と、コロナ前を超える過去最高となりました。

一方で、物価高騰や円安による日本離れの声も聞こえてきます。日本が世界から選ばれる国であるためには、それぞれの地方が最大限に個性を輝かせることが大切だと考えています。国内外から「元気な都市」として評価をいただいている福岡市ですが、今後も多くの人を惹きつけ、選ばれる都市であるために、変化を恐れず、新たな取組みにチャレンジを続けていきたいと考えています。

「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」の実現に向け、今後も果敢にチャレンジを続けてまいります。